

# 感動のオーストラリア 世界遺産紀行 8日間

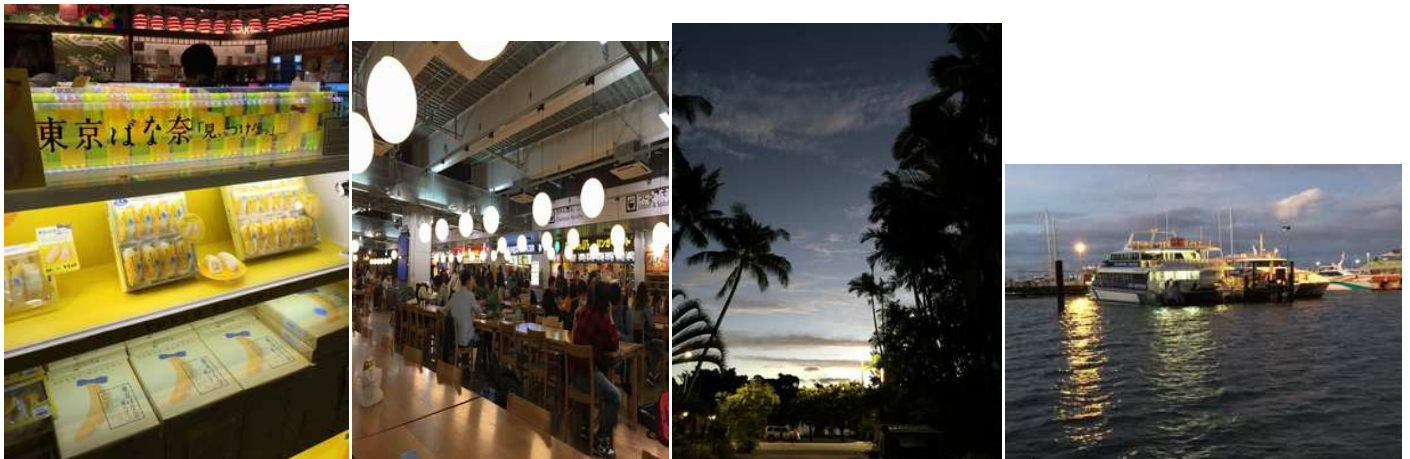
2016年4月16日～23日・・・RSK-OB 高谷 昇 NOBORU TAKAYA

オーストラリア旅行しました。写真を中心に皆さんにも、オーストラリアの旅を満喫していただきましょう。イギリスがオーストラリア発見、植民地にして200年になるそうです。オーストラリアは日本の国土の約22倍の広さがあり、砂漠も多いですが沿岸部は開けています。日本との時差は1時間、場所により30分です。

**\*第1日** 12:50 岡山空港発→14:05 羽田空港着 羽田発→リムジンバスで成田空港着

20:40 成田空港発→05:05 ケアンズ着 (オーストラリア) 所要時間7時間25分

機中泊



成田空港で 東京バナナ を買いました。成田空港で腹ごしらえをして、ケアンズへ旅立ちました。ケアンズはフィリピンと同じ緯度で熱帯ですわ。泳いだり、もぐったり・・・

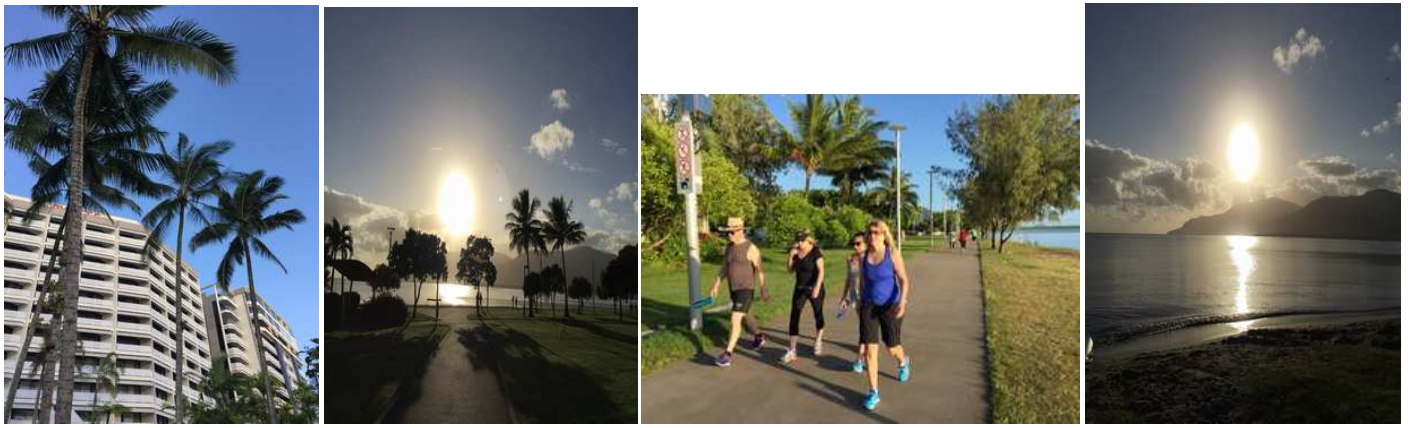
**\*第2日** 05:05 ケアンズ着→s k y レールでキュランダ村へ・・・1時間

世界遺産① クイーンズランド湿潤熱帯地域内・・・キュランダ村観光、2時間



コアラを抱っこして写真撮る・・・コアラを抱っこできるのは身長120cm以上、子どもは両親と一緒に写る。

コアラも重労働、次々と観光客に抱かれなければなりません。30人ぐらい抱っこして写真を撮るとユーカリの木に戻されて、別のコアラが登場します。コアラを抱かせてくれる女性も大変、据え付けのカメラで次々と写すおじさんも大変です。お金儲けは簡単ではありません。800種類ぐらいある、ユーカリでもコアラが食べれるのは数十種類しかなく、シドニーにはユーカリはあるが、コアラは住めません。ケアンズ付近に住んでいます。サトウキビ畑は向こうの山までもう見えないくらい広いです。TPPでこの国と農産物、畜産物、ちょっと戦えませんか・・・特級品を生産して富裕層を狙うか・・・(1)・・・



オーストラリアは日本は春、逆にオーストラリアは秋です。しかし日本の 22 倍の国土です。四季はなく、雨季と乾季、ケアンズ、エアーズロックは暑い、半袖、裸で泳いでいます。ヤシの木がたくさんあり、ジョギングする若者、おばさん、おじさん、みんな走っています。その効果は薄いのか、太めの人がほとんどです。

キュランダ村→ケアンズへ・・・2時間、高原鉄道に乗車

昔、石炭を運んでいた列車です。今は観光客を運んでいます。山瀬まみがキンチョー蚊取り線香のCMで泳いだ川もありました。バブル時はオーストラリアの川でCM製作です。日本のそこら辺の川となんら変わりません。良き時代は遠くなりにはけり・・・今は交際費、接待費、なんてとんでもありません。文字の存在なし・・・



ケアンズ着後に免税店でショッピング→ホテルへ

ケアンズ泊

**\*第3日** 08:00 徒歩でホテル出発→高速フェリー乗船・・・

世界遺産②グレートバリアリーフ内・・・グリーン島へ、所要時間5時間



シュノーケリングとガラス底ボートツアーで魚とサンゴ礁見物

海水パンツを忘れたが、前日スーパーで海水パンツもどきを買って、悠々と泳ぎました。小さな魚が目の前でした。安いツアー程、オプションがいっぱいです。現地でお金のいること、いること・・・

ヘリコプター遊覧飛行・・・空からサンゴ礁や島々を一望1人30ドル

真ん中のヤング女性は娘ではありません。偶然ヘリコプターに乗り合わせた日本からの観光客でした。世界遺産のサンゴ礁群や島々が上空から鮮やかに見れました。青い海と空は絶品でした。



ケアンズ着後、徒歩にて夕食レストランへ・・・夕食後ホテルへ

ケアンズ泊

**\*第4日** 06:00 バスでホテル発

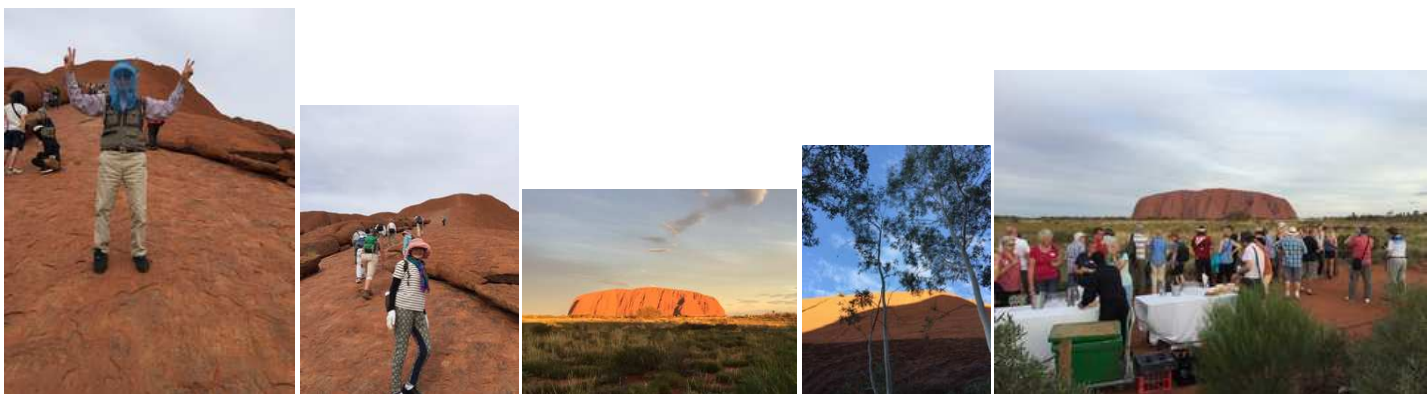
07:30 空路→エアーズロックへ所要時間2時間55分

飛行機からは茶色の砂漠が延々と続いています。ときどき白いものが見えますが、塩湖だそうです。



エアーズロック到着後、ホテルで昼食・・・さあ、いよいよエアーズロック登頂に挑戦！

ツアー21人中、5人が頂上まで到達しました。優秀な成績だそうです。私ですかももちろん途中の持つ岩が有る所までです。良い写真は撮れました。エアーズロック登頂記録です。みんな顔にハエ防止ネットをかぶっています。砂漠の人間にしかこないハエです。たくさんいます。日本人ガイドのおねえさんは20~30匹年間食べてしまうとのこと。たんぱく質があるからと・・・ほんとうにうるさいハエです・・・

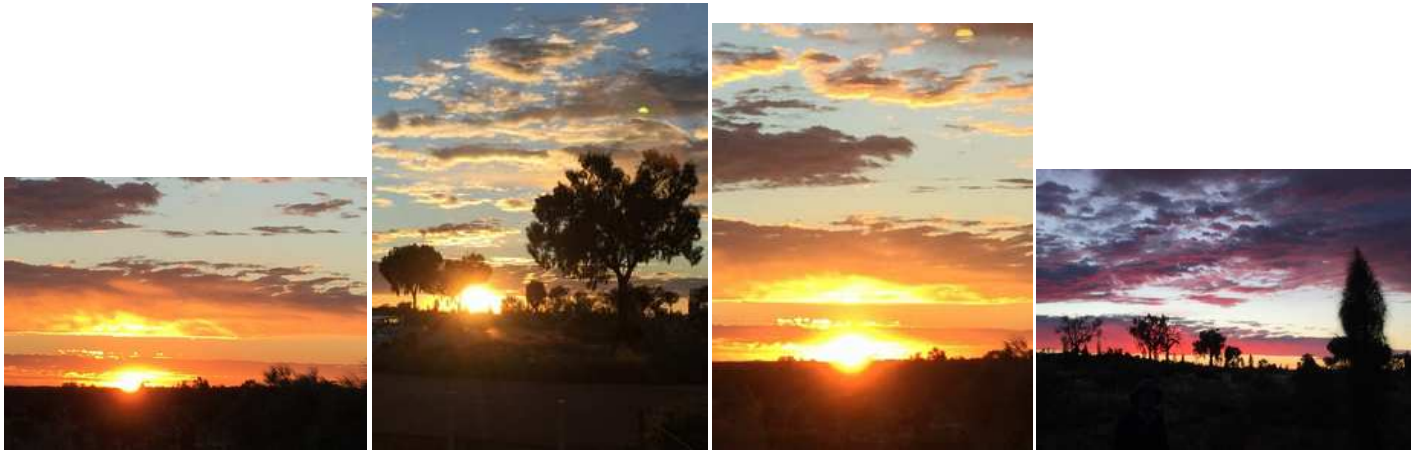


カタジュタ（マウントオルガ）観光、1時間→風の谷、風が強く吹いてくる・・・

とにかく砂漠のハエには困った。4枚25ドルでハエ防止ネットをみんな買ってかぶらないとハエがうるさい。イスラム教徒ではないのですが、みんなかぶりました。

夕日に映える エアーズロック（ウルル・・・今は裁判闘争の結果政府が原住民にこの土地を返して借地してる）正式には今は、「ウルル」と呼ばれている。夕日に映えるエアーズロックを見ながらの ワインの味は格別でした。トマト、唐辛子、その他調味料のドレッシングでポテトチップスを・・・美味しかったです・・・

夕日が砂漠に沈み、エアーズロックが金色に輝いて見えます。この世のものとは思えません。きれいです。・・・



世界遺産③ ウルル（エアーズロック）のサンセット鑑賞、スパークリングワインやジュースを飲みながら鮮やかな夕日のエアーズロックを鑑賞・・・→19：00 ホテル到着 エアーズロック泊

**\*第5日** 早朝、ウルル（エアーズロック）のサンライズ鑑賞

アボリジニ カルチャーセンターの見学、原住民の生活など展示してある。

クニヤ ウオーク・・・ムチジュルの泉、4つ葉の幸運の水草・・・

エアーズロックにはたくさんの洞窟があります。原住民は洞窟で会議を開いたり、台所として料理し食事したり、お母さんがお産をしたり、生活の中で利用したようです。この日本人ガイドのおねえさんは6日間、原住民と一緒に生活したそうです。文字がないので手振り身振り、アリを食べたり虫を食べたり、野草を食べたり、壮絶な生活だったとのこと。今は原住民は保護されて、車に乗り、スーパーで買い物もしているとのこと。

赤いシャツの男性はバスの運転手ですが、赤いシャツにも、帽子にもハエだらけです。



エアーズロック リゾートの散策

ラクダ牧場でラクダに乗りました。1人が15ドルでした。

月の砂漠ならぬ、真昼の砂漠をラクダに乗ってサンボです。観光客は日本人が一番多い。ガイドも日本人客には全て日本人のガイドがつきます。次が中国人、大きな声でやかましい。船の中でギャー・ガー・ワー・大声・・・何事かと思えば、船酔いした中国のご婦人が袋に、昼食の中華料理を戻しているところです。まあ、戦争でも始まったのかと、満員の船客が振り返りました。それが船が目的港に着くまで、1時間もです。本人はしんどいし、かわいそうですが、そんな気持ちは船客全員頭を通り過ぎました。やかましい・・・なんとかして・・・やかましい・・・



夕食後、バス→太陽光による5万個の電球が砂漠一面に輝く、「フィールド・オブ・ライト」見物  
エアーズロック泊

**\*第6日** エアーズロック・・・スーパーで買い物、博物館見学、原住民による歴史芝居を鑑賞  
12:45 ホテル出発、 空路 エアーズロック →シドニー へ 所要時間3時間  
17:45 シドニー着後、ホテルへ→18:45 ホテル着

シドニー泊

**\*第7日** 08:30 ホテル出発→バスで世界遺産、ブルーマウンテンズ国立公園 観光、2時間  
エコポイントを観光・・・→シーニックワールドへ52度の急斜面トロッコ列車で  
また、密林の上を、 シーニック ケーブルウェイで上から壮大な自然遺産を見物、3時間



→そのあと、シドニーへ戻り・・・市内観光1時間30分

シドニーは秋でした。木々は紅葉していました。巨泉の店がシドニーにもあります。日本人客でいっぱいでした。トイレ休憩と言ったほうが正解かもしれません。



世界遺産のオペラハウス（三角のような屋根）見学、シドニーの港風景を堪能、ハーバーブリッジ、噴水、カモメ・・・



シドニーの港、ハーバーブリッジ、オペラハウス前の噴水、建国 200 年を祝う公園



イギリスから来た総督の奥さんが、故郷イギリスに思いをはせた石の椅子があります。

——ミセス マッコリー

夜はシドニーの日本料理店で夕食、居酒屋風で日本人客であふれかえっていました。酒も松竹梅や焼酎など銘柄も豊富に揃っていました。シドニーでサーモンの刺身、豆腐、など ご飯はおいしかったです。

その後土産店で買い物→その後空港へ

## \*第 8 日

21 : 00 空路、シドニー発→05 : 30 羽田空港着 所要時間 9 時間 3 0 分

機中泊

10 : 50 羽田空港発→12 : 05 岡山空港着→やれやれ帰宅



旅行期間中、晴れ男、晴れ女、ばかりで天候に恵まれました。楽しい旅を無事に終わられました。

旅行記を最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

それではお元気で、また、お目にかかりましょう。.....

## 感動のオーストラリア 世界遺産紀行 8 日間

2016年4月16日～23日・・・RSK-OB 高谷 昇 NOBORU TAKAYA